

# 長野工場 CSRレポート

**事業内容:** 油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立て  
**敷地面積:** 24,380m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 213人  
**所在地:** 長野県下伊那郡高森町吉田548



**相談・苦情などの受付窓口:**  
 TEL: 0265-35-3211 FAX: 0265-35-6884

## 所長ご挨拶



前沢 昇

1961年南アルプスと中央アルプスに囲まれた自然豊かな長野県高森町に設立され、横浜ゴム(株)において唯一金属製品加工工場として、多軸自動盤、NC旋盤をはじめとする工作機械を備え、油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立てを主力生産品目とし、国内外の系列工場への供給と、全国のお客さまへ製品供給させていただきながら本年設立50周年を迎えました。長野県の豊かな自然と融合した事業所運営を目指し、かつ当社「GD100」で掲げております「トップレベルの環境貢献企業」の達成に向け、金属製品加工に伴う切削屑の完全リサイクル

ル化、工法改善による切粉屑の削減活動を行い、産業廃棄物の削減を推進。省エネ活動として従業員一丸となり工場、家庭での身近な省エネ活動を推進するほか、工場内設備の省電力タイプの導入、更新を行い地球温暖化防止への取り組みを活発に行っています。また地域コミュニケーションとして「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクト活動も、今年度既に第4期を計画し、さらなる杜の拡大を図るとともに、地域への杜活動拡大を推進していきたいと計画しております。今年度も地域を流れる天竜川河川清掃(環境ピクニック)への参加、中高生生の職場体験学習の実施する中で、当社における環境への取り組みを理解いただく機会を増やすなど、さらなる地域コミュニケーション活動を充実させ、地域社会の皆さま、従業員とその家族一丸となって環境貢献企業を目指していく所存です。

## 環境経営の推進

### 環境方針

横浜ゴム株式会社は「トップレベルの環境貢献企業」を目指す

- (1) 長野工場は、生産から廃棄に至るあらゆる段階で環境負荷低減に取り組めます。
- (2) 信頼され続ける工場として、環境汚染の予防を図り環境改善を継続的に推進します。
- (3) 地球温暖化対応、省エネルギー、廃棄物の低減に取り組めます。
- (4) 当工場に関連する法規制及び協定等を順守し環境保全に取り組めます。
- (5) 当工場の環境目的・目標を設定し、それに連鎖した各課の目的・目標を達成する為、計画的に実行し、年1回見直しを実施します。
- (6) 工場全従業員及び構成員が本環境方針を理解し行動する様、教育と啓蒙を行ない周知徹底します。
- (7) 地域とのコミュニケーションを大切にし、地域に貢献する活動を進めます。
- (8) 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表します。

### 環境リスク対応

油流出対応訓練を2011年6月15日、17日、20日に実施し、計35名が参加しました。



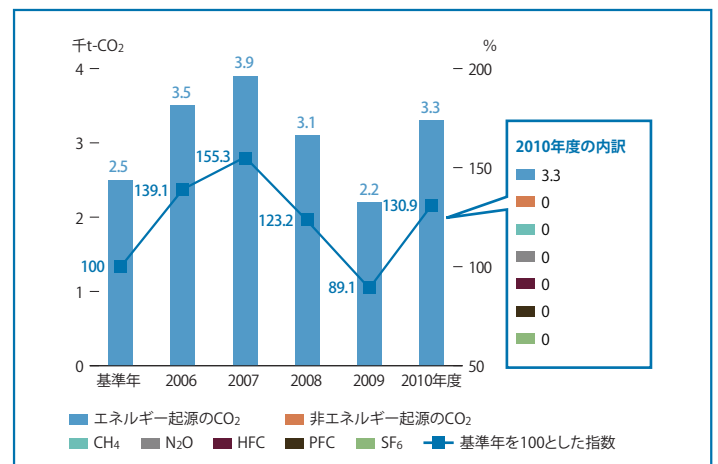
環境教育を2011年6月14日、21日、30日に実施し、計198人が参加しました。



### 環境データ

#### ■温室効果ガス排出量の削減

総温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数



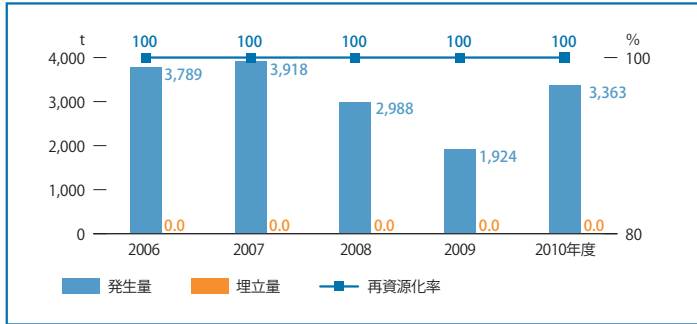
※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF<sub>6</sub>は1995年としています。  
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。  
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。



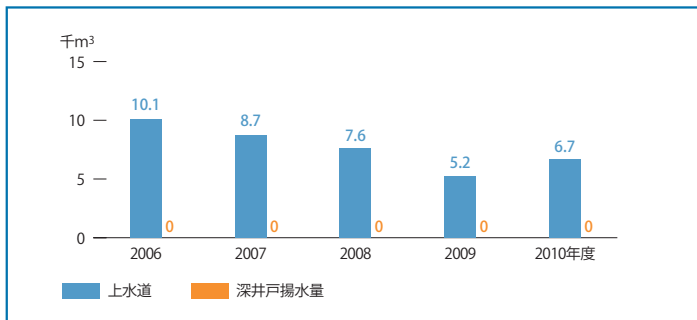
## 環境経営の推進

### ■資源の有効活用／廃棄物の削減

#### ・廃棄物データ



#### ・水使用量



### ■水・大気・土壌への排出対策

#### ・水質汚濁にかかわるデータ

項目	規制値	自主管理値	2010年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	5.8~8.6	—	6.4	6.9	5.9
BOD濃度 (mg/l)	160	22	13.8	18.0	9.6
COD濃度 (mg/l)	160	25	10.8	12	9.6
SS濃度 (mg/l)	200	—	12.2	16.0	8.3
油分濃度 (mg/l)	5	—	1.0	1.1	0.8

※法規制対象外(自主管理測定、2回以上/年)

※規制値は長野県条例



## 安全健康な職場環境

### 安全方針

#### 基本方針

安全衛生の確保は全ての基本である

安全衛生確保は企業活動と不可分な関係と認識し管理者と監督者の強力なリーダーシップと全従業員及び構成員の協力の下に労働災害防止と快適な職場づくりと健康づくりをめざす。

#### 安全衛生方針

- (1) 全従業員及び構成員一人ひとりが安全衛生を全てに優先させ全ての職位・職制の参加と行動と協力の下に安全衛生活動の向上を図る。
  - 1) 職場の一人ひとりは職場の決め事を確実に守り安全に徹した作業を行う
  - 2) 管理者・監督者は、不安全状態・行動を見逃すことなく部下の安全衛生を守る責務を負う  
また行動に当っては安全に対する自らの姿勢を明確に示すと共に三現主義(現場・現物・現実)に徹し職場の実態を自ら把握する
- (2) 安全衛生に係わる法令・行政指針への積極的な適合を図る
- (3) 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の適切な実施及び運用により潜在的危険を排除するためPDCAを回し継続的なリスク低減を図る
- (4) “整理整頓は安全衛生の基本である”との考えをもとに2Sを徹底する
- (5) 全従業員及び構成員に対して安全衛生の重要性を周知し必要な教育・訓練を実施する
- (6) 安心して働ける快適な職場環境づくりを通じて健康の確保を図り従業員の健康状態に配慮した健康づくりを支援する
- (7) 自動車産業の一翼をになう企業として交通事故防止に取組む

### 従業員の教育・訓練

防災訓練を2010年10月2日、5日に実施し、計180人が参加しました。



## 消費者とのコミュニケーション

### 工場見学の受け入れ

職業安定協会が主催する地元高校生52人を受け入れ、地元企業をPRしました。

また、QCサークル伊那ブロックから40人の受け入れし、改善事例報告、工場見学後、サークル活動について論議されました。



## ステークホルダーコミュニケーション

### 地域とのかかわり

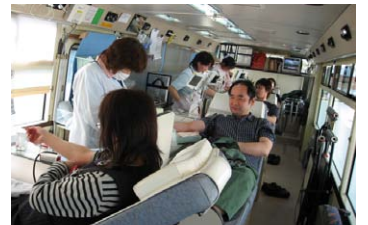
#### 家族ふれあい祭り

従業員と家族、近隣の住民の方を招待し「家族ふれあい祭り」を開催。餅つき大会、和太鼓の演奏など楽しいひと時を過ごしました。



#### 「愛の献血」に協力

「愛の献血」に従業員45人が協力しました。



#### 地域のスポーツ大会への参加

「労福協ソフトバレーボール大会」へ10人の従業員が参加しました。



#### 清掃活動への参加

(財)長野県テクノ財団が主催する天竜川の清掃活動「環境ピクニック」に、従業員32人が参加しました。



#### 地域ぐるみ環境の取り組みに参加

全国グリーンウエーブに参加。また、「昼も夜も節電ライトダウン2011」を実施。同時に「さわやか信州省エネ大作戦」に取り組みました。3年継続してエコキャップ回収も進めました。